

セントラルケンタッキー日本人補習校 令和6年(2024)3月16日

CKJS だより

第83号(最終号)

校長 松平 昭二

shoji\_matsudaira@hotmail.co.jp

## 思い出を詰め込んで

いよいよ帰国が近づきました。理事会をはじめ、保護者の皆様には多大なご支援とご協力をいただき、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

これもしたい、あれもしたい……。そのようなことを考えているうちに、あっという間に2年間で過ぎてしまったような気がします。新型コロナウイルス感染症による2年間の学校閉鎖を終え、学校再開の年に赴任したのも何かの縁だと思います。

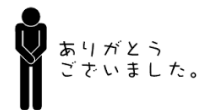
日本人学校の経験はあるものの、補習校は今回が初めての経験でした。どんな仕事が増えるのだろうか、自分にできるだろうか、などと不安をいっぱい抱えての出発でしたが、帰国を目前にした今、それらはいつの間にか消えています。

校長としてなすべきことは、幼小中高一貫校としての学校運営とは、経営者としての視点等々……。思い起こせばいろいろな心配や課題を抱えての出発でした。しかし、様々な課題を払拭できたのは、一貫校ならではの教育の有効性と充実した施設の活用による子どもたちの気持ちの高揚、そして、教員が常に心がける人間的な触れ合いの成果であったのではないかと思います。

生命の神秘の領域まで科学の進歩が迫っている現代、心の在り方は社会的な問題として問われている課題です。しかし、いかに科学が進歩しても、教育が目的としている人と人との触れ合いを尊ぶ生き方を学ぶことは、人間として最も大切なことです。私自身素晴らしい子どもたちや仲間と共に仕事できたことは、何よりの思い出であり、誇りです。

最近、慌てて帰国の準備を始めました。荷造りをしながら、様々な思いがこみ上げてきます。わずか2年間でしたが、思い出はいっぱいです。帰国の際に、

「できることなら、この学校を持ち帰りたい」と言った児童がいたそうですが、「この段ボール箱にセントラルケンタッキー日本人補習校を詰め込めたら……」という思いは、私も同じです。



最後になりますが、セントラルケンタッキー日本人補習校に勤務できたことへの感謝の意を表して結びとします。ありがとうございました。 さようなら。



## 【お知らせ】

本校で35年間勤務していた藤澤啓子先生が、本日ご退職されました。長きにわたって本校のために尽力していただき、ありがとうございました。

以下、挨拶文を掲載します。

藤澤 啓子

テーツクリーク小学校の校舎の横に設置された2つのトレーラーハウスでスタートした補習校での日々を懐かしく思い出します。

皆様のご指導と暖かいご支援を得て、本日までの長い間勤めることができました。忍耐強く見守ってくださったこと、心より感謝申し上げます。ともに語り、学ぶ日々であったように思います。また、小学4年生の担任という新たなチャレンジも経験させていただきました。

この補習校に集うすべての皆様のご健康とご多幸を、そして補習校が末永くこのケンタッキーの地で輝き続けることを心からお祈り申し上げて、私の最後のご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。



※ 春休み中は、土曜日から火曜日まで事務室・図書室を閉めています。  
ご不便をおかけしますが、ご承知おきください。よろしくお願いいたします。

※ 来年度は4月13日より始まります。この日は、入学式・入園式のため特別時程になり、登校時間が通常と異なります。ホームページ「お知らせ」に特別時程を掲載してありますので、ご確認ください。